開校40周年 柳沢小学校

校長　横山常雄

江戸時代に柳沢宿として栄えた歴史と由緒ある地名をもとに命名され、昭和50年に開校した柳沢小学校。

11月20日㈮に行われた開校40周年記念式典は、市長をはじめ、約１２０人の方々にご列席いただきました。

開式に先立ち、５年生が合唱及び和太鼓「柳沢揃え打ち」を勇壮に熱演。式の後半には、柳沢小の40年間をまとめたスライドに合わせて6年生が呼びかけを凛々しく行いました。

40周年記念式典の様子

さらに、40周年を記念して作られた歌「たからもの」を5・6年生で初披露。圧巻は、6年生による「大地讃頌」の大合唱でした。今日まで柳沢小を支えてくださった皆様への感謝の思いを歌にのせて、全力で表現しました。

地域のみなさまの温かい思いに見事に応えた子供たち。一人ひとりにとって、きっと素晴らしい思い出になったことと思います。

東京都教育委員会表彰

◆学校活動支援団体等に対する感謝状

東京都教育の日である11月7日㈯、地域で子どもたちへの読み聞かせ活動を33年以上にわたり行っている「もぐらの会」に、東京都教育委員会から感謝状が贈呈されました。

この感謝状は、長年にわたり、学校活動の支援及び地域における児童・生徒の育成活動を続けている団体・個人に対し、今後の活動継続を推奨することを目的に、贈呈されるものです。

「もぐらの会」は、ろうそくを机に置いて読み聞かせを行う、その独特の雰囲気が好評で、子どもたちを話の中に引き込み、夢や希望を紡いでくれています。

読み聞かせを通じて、子どもたちの読書活動を推進するだけでなく、子供たちに意欲や意思を持つことを教えていることが、人の生き方に関わる大切な教育を担っている団体として高い評価を受けました。

◆東京都教育委員会職員表彰

東京都の教育の発展、学術、文化の振興に貢献し、その功績が顕著で、かつ勤務成績の優秀な職員の功労をたたえるため、2月12日㈮、都民ホールにて表彰式が行われました。

西東京市からは、次の職員が表彰されました。

◇宍戸　鈴子（ししど　れいこ）
田無小学校長

◇渡邊　圭太郎（わたなべ　けいたろう）
田無第二中学校主幹教諭

◆教育企画課　042(438)4070

人権作文コンテストに入賞しました

人権尊重の重要性、必要性の理解を深めるために実施されている「平成27年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会」（東京法務局・東京都人権擁護委員連合会主催）が、昨年11月29日㈰に新宿区で行われました。

都内３１１校から応募があった、４万４，１９５編の中から、西東京市立中学校の生徒の作品が入賞しました。

＜作文委員会賞＞

ドイツ国際平和村で学んだ事
保谷中学校　1年
野元（のもと）　慧（けい）さん

気持ちに寄り添う医療
田無第二中学校　2年
深海（ふかみ）　日彩（ひいろ）さん

いつ何処で
田無第三中学校　1年
後藤（ごとう）　星夜（せいや）さん

やさしい世の中になるように
谷戸第二小学校　5年
松本（まつもと）　紗枝（さえ）さん

仲間の大切さ
東小学校　6年
小椋（おぐら）　妃奈（ひな）さん

人権メッセージ発表会が行われました

子どもたちに豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的に開催されている、「第22回子どもたちからの人権メッセージ発表会」（多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会主催）が昨年9月12日㈯に国立市で行われました。西東京市立小学校からは、2人の児童が発表を行いました。

◆教育企画課　042(438)4070

理科・算数だいすき実験教室

学校の授業とはひと味ちがう！

昨年11月21日㈯、早稲田大学高等学院で第2回理科・算数だいすき実験教室が行われました。第1回の教室に引き続き、たくさんのご応募をいただきました。なかでも、5倍近い倍率となった、「コハクを知ろう」の講座を紹介します。

この講座では、数万～数百万年前の化石であるコハクを粗さの違う複数の紙やすりで磨き、中にいる昆虫を観察しました。

今回の実験ではアリやクモなどの昆虫を観察することが出来ました。

第2回の教室では、このほかにも、風力発電の原理を学習できる講座や、人工イクラを作る講座などを行いました。

今年度の教室はすべて終了しましたが、今後も早稲田大学との連携事業を実施していきます。

◆教育企画課　042(438)4070

「対話による美術鑑賞」をご存知ですか？

アートみーる

「対話による美術鑑賞」とは、一般的には１９８０年代からニューヨーク近代美術館で開発された鑑賞方法のことをいいます。知識に頼らずに作品をよく見ることから始め、一人ひとりに「これは何だろう？」と考えることを促し、様々な意見を引き出しながら作品の見方を深めていきます。

市では、教育委員会と連携して、専門的な研修を受けた市民ボランティア（チーム名：アートみーる）が小学校に出向き、子どもたちと対話をしながら美術鑑賞をする取組を昨年度からスタートしました。

この取組は、平成24年3月に策定した文化芸術振興計画を推進するもので、子どもの観察力・思考力・コミュニケーション能力の向上を図るとともに、文化芸術活動を支える市民ボランティアとの協働を目的としています。

今年度は、14校で実施する予定（すでに11校で実施）で、そのうちの1校、保谷小学校では、学校での鑑賞授業と併せて昨年10月8日㈭に美術館訪問授業を実施しました。

子どもたちからは、「たくさんの絵を見て話したり、友だちの話を聞いたりするのが楽しかった」という声が寄せられ、先生からは、「小学校の授業であまり発言しない子も積極的に発言していた」という驚きの声もありました。美術鑑賞には正解・不正解がないということが、子どもたちの発言を引き出すことを容易にしています。

最新情報は、市ホームページ等で随時公開しますので、ぜひご覧ください。

〈問合せ〉
○この取組に関すること
文化振興課　042(438)4040
◆教育指導課　042(438)4075